

## ■ ご挨拶

交通安全環境研究所は、昭和45年に運輸省の「交通安全公害研究所」として設置され、本年7月1日をもって創立五十周年を迎えました。この場をお借りして、改めて関係各位の皆さまに厚く御礼申し上げます。

この50年間で、急激なモータリゼーションの進展により自動車保有台数が約5倍に増加する等交通環境が大きく変化する中、さまざまな安全・環境対策を実施した結果、年間交通事故死者数を約1/5に減少させるとともに、大気汚染は大幅に改善されました。

今後とも、より一層の交通事故の削減や地球環境の保全に向け、また、少子高齢化・労働力不足に対応した自動運転の実現や生産性の向上、我が国の国際競争力を確保するための基準・規格の国際化も念頭におきながら、安全で環境にやさしい交通社会実現のために力を尽くしてまいります。

50周年記念講演会では、「新技術への対応と新たな挑戦 ～Over the generations～」をテーマに掲げ、外部の専門家の方から中長期的な技術発展の方向性とそれを踏まえた当研究所に期待する役割等についてご講演いただくとともに、当研究所から、これまでの成果と今後の技術や交通社会の方向性を踏まえた具体的な取組について発表を行うこととしております。

上記講演を通じ、当研究所の活動を更に充実・発展させ、社会的な期待と信頼に応えていく所存でございます。

今回の記念講演は、新型コロナウイルスによる感染の影響から、残念ながらオンラインによる開催とさせていただきますが、専門家の方はもちろん、交通社会にご関心のある皆様まで幅広い方々のご視聴を心よりお待ちしております。

令和2年10月  
独立行政法人 自動車技術総合機構  
理事長 柳川 久治

## ■ オンライン開催について

ご不明な点がございましたら、事務局までお問い合わせください。

今般の新型コロナウイルス感染拡大を受けて、50周年記念講演会、フォーラム2020については感染拡大防止を目的として、オンライン開催にて実施いたします。WEBシステムはZoomのミーティングシステムを使用します。参加費は無料ですが、事前のご登録をお願いいたします。視聴方法については、以下をご覧ください。

**視聴方法** お申込みいただいたメールアドレスあてに後日、ZoomのURLを送付いたします。  
当日は指定のURLよりアクセスしますとご視聴いただけます。なお、配信は、定刻の10分前頃より開始する予定です。事前にアクセスいただき、映像や音声が入るかのチェックをお願いいたします。

**事前準備について** 事前に「Zoom」のご準備(ダウンロードとアカウント登録)が必要です。(無料)  
過去に他のセミナー等でZoomを利用したことがある場合は、そのままURLからアクセスください。

### 【Step1】 アカウントを取得する

・PCで参加の場合  
下記URLにアクセスし、サインアップ(アカウント登録)後お使いのPCにZoomをダウンロードしてください。  
<https://zoom.us/signup>

・スマートフォンで参加の場合→お使いのスマートフォンにZoomアプリをインストールし、サインアップを行ってください。  
iPhone:<https://apps.apple.com/jp/app/zoom-cloud-meetings/id546505307>  
Android:<https://play.google.com/store/apps/details?id=us.zoom.videomeetings&hl=ja>

### 【Step2】 マイクのチェック

※参加中は、自分側のマイクはミュートにしてください。 ※カメラの接続は必要ありません。

**お願い**

- ビデオ・写真レコーダ等による撮影および録音はご遠慮ください。
- ご試聴の際には、アンケートへのご協力をお願いいたします。

**お申込方法** 事前登録は右記ホームページよりご確認ください。 <https://www.ntsels.go.jp>



## 独立行政法人 自動車技術総合機構 交通安全環境研究所

事前登録制 参加費無料

# 50周年記念講演会

新技術への対応と新たな挑戦 ～Over the generations～

日時 2020年 11月20日 金

13:00～17:00



お問い合わせ先

独立行政法人 自動車技術総合機構 交通安全環境研究所 企画部技術コーディネーター  
〒182-0012 東京都調布市深大寺東町7丁目42番地27  
電話: 0422-41-3207 (平日9時～17時) FAX: 0422-41-3233 E-mail: forum20@ntsels.go.jp

登録締切  
11/18(水) 17時まで



13:00～13:05	主催者挨拶	自動車技術総合機構 理事長 柳川 久治
13:05～13:10	来賓祝辞1	国土交通省 自動車局次長 江坂 行弘
13:10～13:15	来賓祝辞2	国土交通省 大臣官房技術審議官(鉄道局担当) 江口 秀二
13:15～13:30	概要説明	交通安全環境研究所のこれまでの成果や今後の方向性について 理事 石井 素
13:30～14:00	招待講演1	自動車の安全・環境技術に関する将来展望 早稲田大学 名誉教授 大聖 泰弘氏
14:00～14:20	講演1	自動運転の課題とこれからの安全研究部の取組 自動車安全研究部長 河合 英直
14:20～14:40	講演2	環境研究部の今後の取組について ～さらなる大気環境改善とパリ協定の目標達成に向けて～ 環境研究部長 坂本 一朗
14:40～15:10	休憩	
15:10～15:30	講演3	自動車認証審査部の今後の取組について ～新技術への安全確保・環境保全の取組み～ 自動車認証審査部長 田路 龍吾
15:30～15:45	講演4	リコール技術検証部の今後の取組について ～多様化・複雑化する自動車不具合への対応～ 審議役(リコール技術検証部長兼務) 斧田 孝夫
15:45～16:15	招待講演2	鉄道の自動運転技術 ～「新しい生活様式」におけるドライバレス運転～ 東京大学 教授 古関 隆章氏
16:15～16:35	講演5	交通システム研究部の今後の取組について ～公共交通の可能性を広げる交通システムの技術と社会との橋渡し～ 交通システム研究部長 佐藤 安弘
16:35～16:55	講演6	鉄道認証室の今後の取組について ～時代変化の中でも頼られる存在であり続ける～ 鉄道認証室長 黒川 和浩
16:55～17:00	閉会の挨拶	交通安全環境研究所長 平井 隆志



1970年(昭45)7月 交通安全公害研究所開所

船舶技術研究所より分離し、交通安全公害研究所設立、交通安全部、交通公害部及び自動車審査部並びに総務課の3部1課により発足。



1988年(昭63) 都市内鉄軌道用台車試験設備の設置

この年に竣工した曲線走行が可能な室内台上試験設備。  
(写真は、大阪南港で実験を行ったリニアメトロ台車を搭載している状況。)



2001年(平13)4月 独立行政法人交通安全環境研究所設立

同年1月～3月は、国土交通省交通安全公害研究所



2003年(平15)3月 大型車用シャシダイナモメータ設置

トラック、バス等の重量車から排出される窒素酸化物(NOx)、粒子状物質等の排出ガス及び燃費の評価を行う施設で、次世代低公害車を含めた実車両走行時の排出ガス等の実態調査や、排出ガス後処理装置の劣化調査などを実施。



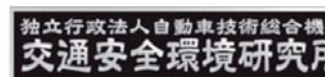
2006年(平18)5月 リコール技術検証部設置

(道路運送車両法等の一部を改正する法律への対応。国土交通省として、不具合情報収集の強化、監査の強化、技術検証の実施等のリコール業務運用体制を強化。)

© 2001-2020 Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism All rights reserved.



2011年(平23)4月 鉄道認証室(NRCC)設置



2016年(平28)4月 独立行政法人自動車技術総合機構 交通安全環境研究所に改組

旧自動車検査独立行政法人と統合



2019年(平31)3月 新規ドライビングシミュレータの導入

低速旋回時の車両運動再現精度向上を目的としたターンテーブル追加、映像の解像度向上を目的とした有機ELパネル設置等によるモーション装置つき大型ドライビングシミュレータの開発を2016年から着手。別の定置型ドライビングシミュレータとの接続(同時に2名の運転)も可能。